

# 平成15年度当初予算編成のポイント

## 1 課 題

中期財政見通しでは、15年度 259億円、16年度 321億円の財源不足。

主な原因は、公債費が累増(14 15年度 80億円 15 16年度 91億円)する一方、15年度末には財源調整のための基金は枯渇。

職員の「右肩上がり思考」を改め、危機的な財政状況を全庁的に十分認識し、

- ・部長、地方局長の「最小のコスト」という意識改革
- ・課長の「あれもこれも」から「あれか、これか」を決断できる意識改革
- ・勇気を持って事業を縮小、廃止するという担当職員の意識改革

を図り、全庁一丸となって財政体質を改善することが急務。

## 2 対 応

### (1) 予算編成の基本的考え方

当初予算は、知事選挙(15年1月)に続き、県議会議員選挙(15年4月)が執行されるため、骨格的予算とし、6月補正で、新規施策等の予算を措置する。

### (2) 予算編成通知

副知事名で通知

次表のとおり、過去最高の厳しいマイナスシーリングを設定し、各部局の主体的な取組みにより、徹底的に歳出カットする。

性質分類	シーリング設定率(一般財源)
維持管理費	9月現計予算の 10%
公共事業費	内示見込額( 3%)
定型的県単独事業費	当面、当初予算の 30%
一般県単独事業費	9月現計予算の 20%
一般行政指導経費	9月現計予算の 20%

新規事業は既存事業のスクラップ等により各部局の責任で財源を確保するとともに、事業終期を明記する。